

期間延長中

おうちで図書館

7月31日まで延長

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、武雄市図書館への来館を控えている方や来館が困難な方を対象に、図書館の本をご自宅までお届けする無料宅配サービス「おうちで図書館」。4月末終了を予定しておりましたが、状況を考慮し期間を延長しています。

武雄市図書館までお電話いただければ、スタッフが伺いし、ご自宅で申いただけます。

(お問い合わせ先：武雄市図書館 Tel.0954-20-0222)

対象

武雄市にお住まいの方のうち、次の①～④に該当される方が対象です。

- ①妊婦の方
- ②以下のお子さまを子育て中の方
 - ・1歳未満のお子さま
 - ・小学校に上がる前の双子や三つ子のお子さま
 - ・小学校に上がる前のお子さま3人以上
- ③75歳以上の方で、お一人暮らしの方または同居家族も75歳以上のみの方
- ④身体障害者手帳をお持ちの方で、障害程度等級が「肢体不自由1、2級」「内部機能障害1、2、3級」である方

新刊紹介

佐賀県近世史料 第10編 第7巻

佐賀県立図書館から『佐賀県近世史料 第10編 第7巻』が刊行。円応寺関係記録、黒髪山大智院関係記録、広福寺関係記録など、武雄市ゆかりの資料が収録されています。ぜひ館内でご覧ください。



PICK UP

TOPIC

どくしょかい 子ども読書会 参加者募集中!

子ども読書会では、武雄市図書館のことをもっと良く知ってもらい、図書館を身近に感じてもらえるよう、いろいろな活動を行います。読み聞かせや工作もありますよ。

対象：武雄市内 小学3年生

定員：8名

参加費：800円(スポーツ安全保険料)

募集受付：6月1日(火)～6月30日(水)

受付場所：武雄市図書館 本館返却カウンター

※定員に達し次第、受付を終了いたします。



2021

7月10日(土) 10月2日(土) 1月15日(土)
8月21日(土) 11月13日(土) 2月5日(土)
9月11日(土) 12月11日(土) 3月12日(土)

2022

シリーズ 伝染病と闘う

かつて人々に恐れられた病気「天然痘」は、感染力が強く、全身に膿疱(水疱の中に膿がたまる)ができ、死亡率が高い病気として世界中で流行していました。また、死には至らなくても、痘痕といわれるひどい跡が顔に残り見た目が定まる(悪くなる)ことから、江戸時代には「見目定めみめさだの病やまい」とも言われていました。

日本では、すでに奈良時代には天然痘の流行がみられます。江戸時代には、毎年流行するようになりました。

この天然痘は疱瘡神(疱瘡=天然痘)がもたらす病気と考えられていました。そこで、疱瘡神をお祀りし、感染しても軽くすむように祈りをささげ、回復すれば疱瘡神を送り出すという風習がありました。また、軽くすませるには赤いものを身につけるとよいと言われていました。これは、赤が古くから魔除けや災難除けの代表的な色とされ、天然痘が軽くすむことを約束してくれると考えられていました。そこで、子どもを守ろうと達磨人形やおもちゃの色にも赤い色が使われました。



疱瘡絵 (鯛車)
歌川芳虎画
江戸時代末～明治時代初期
武雄市蔵



疱瘡絵と呼ばれるもので、疱瘡神から逃れるため魔除けとし広まりました。様々な絵柄がありますが、回復後は川に流す風習があったため、あまり残っていません。

「鯛車」はお祝いなどに用いられたおもちゃで、鯛も赤いことから、お守りとされました。

祭壇に疱瘡神が祀られています。疱瘡(天然痘)にかからないように、かかっても軽くすむように祈るもので、手前の子どもを疱瘡から守ろうとしています。



疱瘡心得草
寛政10(1798)年
武雄市蔵